

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



笑顔いっぱい

～おばあちゃんと楽しいひな祭り～
(紹介は12ページ)

2017.3
No.
51



大会に参加した女性部のみなさん

オホーツクJA女性部協議会は、2月1日～2日の日程で、第25回オホーツクJA女性部大会・家の光大会を開き、管内の女性部約350人、当JA女性部から17人が参加しました。

JJA女性協議会の佐野多希

講演後は、全体での懇親会が行われ、アトラクションでは6JAの女性部が踊りなどを披露しました。

2日目は「私の農業と食」と題し、アトリエhare mi 農業栄養士の高倉晴美氏による講演が行われました。また、会場内では、各地区的女性部が手作りした加



優秀賞を受賞した豊川支部のみなさん



各競技とも白熱した戦いが繰り広げられました

競技終了後は、結果発表が行われ、一位には豪華景品が用意され、部員間の交流を図る良い一日となりました。

ぐじ引きで決めた白、黄、緑、赤チームに分かれ「ラケットリレー」「玉入れ」「輪く輪くウェーブ」「ストラップクアウト」「綱引き」を行い、熱戦が繰り広げられました。白熱した戦いも最後は皆で手を取り、フォークダンスを踊りました。



参加者全員で楽しく「マイム・マイム」

明るい未来へ！仲間たちと心をひとつに

～第25回オホーツクJA女性部大会・家の光大会～

子会長が挨拶を述べた後、来賓の方々から祝辞が述べされました。

次に、「みんなで支える在宅介護」と題し、介護施設「セボラ・コリーナ」の福島美奈子施設長による講演が行われた後、各種報告と発表が行われました。

工品や手芸商品などが展示されており、当JA女性部豊川支部が家の光記事を活用して作った「さうとカブリーナ」が優秀賞を受賞。全道リーダー研修会・家の光大会で展示されることになりました。

JJAところ女性部は2月7日、北見市常呂町スポーツセンターでスポーツ交流会を開き、部員52人が参加しました。

開会式で、岡田部長は「たくさんの部員の参加があり、とてもうれしい。今日は日頃の運動不足の解消と世代を超えた交流を図り楽しみましょう」と挨拶。その後、ラジオ体操を行い競技が開始されました。

楽しみつつ交流図ろう！

～女性部スポーツ交流会～

青年部

より良い青年部活動を目指し 新年度事業がスタート



事業報告を述べる猪野間部長

JJAとうじょうの青年部（猪野間尚人部長）は2月10日、農協会議室で第66回通常総会を開き、部員36人が出席しました。開会に先立ち、JJA青年部綱領を朗唱後、猪野間部長は、組合員交流会やスポーツ交流会、小学校を対象とした食育事業など、青年部で取り組んだ事業報告を行いました。

引き続き、来賓の当づけへ野寺組合長、北見市辻孝宗常呂自治区長、網走農業改良普及センター黒丸隆太郎次長から総会開催にあたってお祝いの言葉が述べられました。

議長に清井兼太郎氏（日吉地区）を選出し、議案審議に入りました。

— 第66回通常総会 —

研修についての報告がありました。本年は、役員の任期満了に伴い、役員改選が行われ、新役員が選任されました。

平成28年度事業報告及び収支決算報告などが承認された後、組織活動や農協事業への取組、農政活動への積極的な参加を基本方針のもと、平成29年度事業計画に、農業・農協事業についての学習活動や研修会、昨年度から実施している、肥料モニターの取り組みや地域活性化活動への取り組みの継続などが盛り込まれた全ての議案が全会一致で承認されました。

総会終了後には報告会が開催され、ホクレン肥料（株）北見工場の遠藤芳幸係長から平成28度に行なった「肥料モニタ一試験」の結果報告がありました。



新役員の所部長・安藤副部長・遠藤書記長（左から）

新役員（敬称略）
○部長 所尚玄
○副部長 安藤貴彦
(共立地区)
○書記長 遠藤圭一郎
(日吉地区)



受賞した子供たちに表彰状を手渡す猪野間部長



受賞した子供たちと一緒に記念撮影する竹原会長（左）と猪野間部長（右）

JJA青年部絵画コンクールで 町内小学生が入賞

オホーツク農協青年部協議会が主催し、オホーツク管内の小中学生を対象にした「農業絵画コンクール」が行われ、157点の応募がありました。審査の結果、本町の小

学生7人が受賞。金賞となる

「オホーツクJJA青年部賞」

に常呂小学校の森南帆さん、

「JJAとうじょう青年部賞」は同

じく1年生の小林ゆずなさん

が受賞しました。

2月13日に、同協議会の竹原宏太郎会長とJJA青年部の猪野間尚人部長が同校を訪れ、受賞した子供たちに表彰状と副賞を手渡しました。

表彰状を手渡す際、竹原会長は「これからも個性溢れる

絵画の応募をお願いします」と受賞した小学生たちに話しました。

「JJAとうじょう青年部賞」は同じく1年生の小林ゆずなさん

が受賞しました。

2月13日に、同協議会の竹原宏太郎会長とJJA青年部の猪野間尚人部長が同校を訪れ、受賞した子供たちに表彰状と副賞を手渡しました。

表彰状を手渡す際、竹原会長は「これからも個性溢れる

絵画の応募をお願いします」と受賞した小学生たちに話しました。



●開会挨拶する清井会長



●玉葱振興会青年部の総会も同日行われました

更なる高品質・高収量の 玉葱生産を目指して

—玉葱振興会・同青年部 通常総会—

常呂町玉葱振興会（清井俊幸会長）は1月24日、網走市の網走湖荘で第50回通常総会を開催しました。

開会に先立ち清井会長は、平成28年産玉葱の概況と事業経過を含めた挨拶を述べました。来賓として、当JA小野寺組合長、市場担当者（5社）を招き、各社から祝辞を頂き通常総会が開催されました。

その後、議長に森脇久幸氏が選出され議案審議に移り、会員からの活発な意見などがありました。

同振興会の総会終了後、引き続き、常呂町玉葱振興会青年部（遠藤圭一郎部長）の第45回通常総会が開催されました。

遠藤部長の開会挨拶に続き、同振興会の清井会長より祝辞を頂き、議長に川上慎太郎氏を選出して、議案審議に移りました。慎重な審議の結果、全議案とも可決決定されました。

すべての総会終了後、来賓を交えて懇親会を開催し、意見交換をしながら盛会の内に、終了致しました。

開会にあたり今橋会長から平成28年度の甜菜作況状況の報告を含めた開会挨拶の後、来賓の当JA小野寺組合長、日甜美幌製糖所石栗秀取締役所長より祝辞が述べられ、今橋会長が議長を兼任し議案審議に入りました。

議案第1号の「平成28年度事業報告・収支決算書の承認」から議案第4号の「報告事項」まで慎重に審議され、全議案とも原案通り可決決定されました。

また、役員任期満了に伴い平成29年度からの役員の改選があり、守屋郁生選考委員長より会長の選考過程が説明され、新会長に福山地区の植松孝雄氏が選出されました。

その後、植松新会長が開会の挨拶を述べ総会を終了致しました。

最後に平成29年度も甜菜の生産や面積増に努めて参りますので甜菜耕作者のご協力をお願い致します。

新役員は次の通り。（敬称略）

○会長 植松 孝雄（福山地区）

今年もより良い甜菜生産を目指し

—甜菜振興対策協議会—

常呂町甜菜対策協議会（今橋福浩会長）は2月6日、JIA会議室で第58回通常総会を開き、協議会役員、来賓合

わせて29人が出席しました。

開会にあたり今橋会長から平成28

○副会長 山内 英之（岐阜第1地区）
小原 正嗣（土佐地区）
○監事 江田 雅一（豊川地区）
清井 兼太郎（日吉地区）

○選考委員 岡崎 尉伸（共立地区）
渡邊 修平（岐阜第3地区）
土田 竜也（富丘第1地区）
清井 兼太郎（日吉地区）



●総会に出席する会員のみなさん

ニンニクのブランド化のために

—ニンニク耕作者部会20周年記念事業—

常呂町ニンニク耕作者部会（森澤正太郎会長）は、今回部会設立20周年を記念した道外視察研修を2カ年で計画し、1年目の本年は1月16日～19日の4日間で実施致しました。

視察研修には森澤部会長を含め6人が参加し、日本製薬工業株を含めた関東・中部・近畿地方の取引先を訪問いたしました。

部会として3年前までは、加工原料のみの出荷販売をしておりましたが、一年より生産量を拡大。加工契約数量を超過した分の原料を生食販売しており、生食出荷量は平成27年産8t、平成28年産12tと上向傾向で推移しております。



日本製薬工業の前にて

生食販売の原料については市場向けが大多数を占めており、今回視察で訪れた主要販売先である東一川崎中央青果株、横浜丸中青果株では、ニンニクの情勢や今回リユースアルした資材関係、出荷時期、品質など幅広い部分での情報交換がなされました。

今回の視察を通して、より一層良品質の原料を栽培から供給まで安定的に行つていかなければならぬと再確認することができた実りある研修となりました。



日本製薬工業の職員と意見交換する
小野寺靖副部会長と森澤部会長（左より）



開会挨拶を述べる
森澤部会長

常呂町ニンニク耕作者部会は2月9日、JA会議室で第20回通常総会を開き、部会員10人が出席しました。

開会に先立ち、森澤部会長が平成28年度の状況を含めた挨拶の後、来賓の当JA小野寺組合長、日本製薬工業株古川忠幸製造部長に同部会の更なる発展を込めた祝辞を頂きました。その後、森澤部会長が議長を兼務し議事進行を行い、提出された全議案は満場一致で原案通り可決決定されました。

平成28年度のニンニクの生育状況と致しましては、一昨年の秋10月上旬から11月の上旬にわたっての平年より多少遅れた播種となりましたが、春先の5月・6月においては適度な降雨にも恵まれ豊作傾向となり種子用を除いてのピンク・ホワイトの反収は60.3kg、出荷総数量は92.5t（前年対比104%）と近年で最も多い出荷量となりました。



ニンニクブランド化への取り組みを確認する生産者のみなさん

なりました。

また、前年度より実施している生食販売については、今年度JAといのブランドマークを使用した第1弾の作物として「とうろんにんにく」と称し、生食出荷量12tと年々増加傾向で推移しております。今後当部会では「とうろんにんにく」のブランド化に向けた取り組みの計画が実施されます。

生食向け販売を復活させ ブランド確立へ！

—ニンニク耕作者部会—





今年度の小豆の状況を説明する林組合長

議長には東浜地区の白石建蔵氏が選出され議案審議に移りました。議案第1号から第5号まで慎重に審議され全議案とも原案通り可決致しました。

議長には常呂町産小豆の安全宣言を植松正仁副組合長が行い、湊商事(株)藤森氏に平成28年度小豆生産者の全生産履歴が後藤充副組合長よ

り贈呈されました。その後、林組合長より挨拶を述べ、総会は終了致しました。

開会にあたり、林組合長から平成28年産小豆の状況などを交えた挨拶の後、当JA小野寺組合長と湊商事(株)藤森貴之氏、谷尾食糧工業(株)横田健一取締役部長からそれぞれ来賓祝辞が述べられました。



総会に出席する会員のみなさん

最後に平成29年度も小豆の生産や面積増に努めて参りますので組合員のご協力をお願いし、総会報告と致します。

小豆の高品質化を目指し —小豆生産組合—

新車を買うなら、JAで!



新型
STINGRAY
HYBRID
マイルドハイブリッド搭載



新型
WAGON R
HYBRID
マイルドハイブリッド搭載

■ワゴンR スティングレー HYBRID T
4WD CVT 1,779,840円(税込)~

■ワゴンR スティングレー L
4WD CVT 1,414,800円(税込)~

■ワゴンR HYBRID FZ
4WD CVT 1,470,960円(税込)~

■ワゴンR FA
4WD CVT 1,202,040円(税込)~

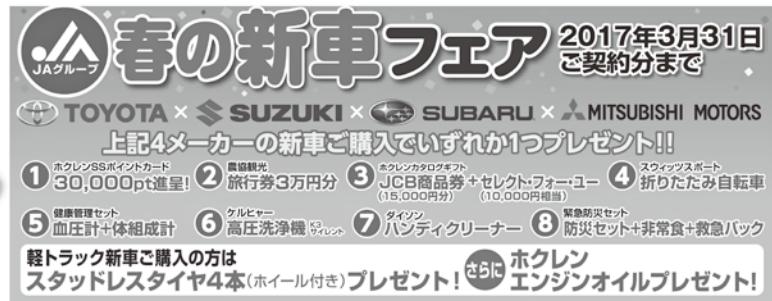
*掲載の車両価格には登録諸費用は含まれておりません。



希望小売価格
KKCU-L2 4WD/5MT

取扱税／重量税／自賄費／預かり法定料／リサイクル料／金／リサイクル料／すべて含む

99.9
万円~
税込
コミコミ
価格!!
お支払い総額



ご用命・ご相談は資材課まで!(54-2300)

人気のフレンチに舌鼓

～料理教室～

JJAといじり（小野寺俊幸組合長）は1月27日、ファーマーズハウスうえみで組合員家族18人が出席し料理講習会を行いました。

この料理講習会は、地元の食材を使用し地産地消を図ることで、地域を越えた交流や食材に対する知識を深め家庭生活を豊かにすることを目的としているのです。

当日は、常呂町でフレンチレストラン「ブレ」を営む才ナーチェフの米本健さんを講師に招き、冬の味覚「力ギ貝」を使ったグラタンや鶏胸肉のカツレツキエフ風、ガトーショコラを調理。

参加者の皆さんには「作り方のヒントはとてもためになる」「JJAの美味しいを家族にも教えたい」と話しました。



料理する際のポイントを聞き、メモを取る参加者のみなさん



開会挨拶を述べる
辻自治区長

辻自治区長
報告及び交換会は、常呂町内に設置した試験展示圃場の試験成績を報告すると共に、地域における取り組みなどの情報交換し、農業生産技術の更なる高度化と地域の活性化を図ることを目的に開かれたもので。

当日は組合員や関係機関など50人の方々から試験報告2

情報提供では、常呂町4Hクラブの馬渕修さんが「小麦の多収を目指して」と題し講演。次に、カルビーポテト株収穫支援課の天野翔太さんが「世界の馬鈴薯収穫事情」と題し講演し、最後にJJAところ青年部の猪野間尚人部長が3カ年計画で実施した「道外視察研修」の報告を行いました。



試験成績報告を聞く参加者のみなさん

生産技術の更なる高度活性化を図る

—試験成績報告・技術情報交換会—

北見市、JJAといじり、網走農業改良普及センターで構成する北見市農業振興会議常呂自治区部会は2月1日、常呂町多目的研修センターで「常呂町農業試験成績報告・技術情報交換会」を開き、関係者など約60人が参加しました。

報告及び交換会は、常呂町内に設置した試験展示圃場の試験成績を報告すると共に、農業試験場の小野寺政行主査

が「土壤凍結深制御技術を応用した畑地の理学化性改善による生産性向上について」と題し報告。

次に常呂町玉葱振興会青年部の佐藤僚典さんが「たまねぎ極早生出荷対策試験」の結果を報告しました。

情報提供では、常呂町4Hクラブの馬渕修さんが「小麦の多収を目指して」と題し講演。次に、カルビーポテト株収穫支援課の天野翔太さんが「世界の馬鈴薯収穫事情」と題し講演し、最後にJJAところ青年部の猪野間尚人部長が3カ年計画で実施した「道外視察研修」の報告を行いました。

供を聞いた参加者からは、「今後の営農意欲に活かせる話が聞けた研修会でした」と感想を話していました。

おいしいパン作りを!

うえる 通信



キッチンスタジオうえるに、パンニーダー（パンこね機）と電子発酵機を導入しました。

うえるのご利用の際にぜひご活用ください！

パン作りなどで
ご利用ください

雪んこまつりで町内に活気を

「じいじの雪んこまつり」が2月12日、常呂町スポーツセンター前百年広場で行われ、青



大勢の子どもたちがすくい台に並んでいました

年部・女性部・4Hクラブ・小豆生産組合が協力しました。

寒さに負けない子どもたちの元気な「雪んこ宣言」でスタートした雪んこまつり。あい

にくの天候だったものの、会場はイベントブース・販売ブース共に大勢のお客さんで賑わっていました。特に4Hクラブの作った毎年恒例のジャンボすべり台は大人気で、遠くからでも子供たちの元気な声がたくさん聞こえてきました。

怪我の無い豊穣の秋を期待して

～農作業事故防止安全講習会～

農作業事故防止安全講習会を2月14日に農協会議室で開催しました。

今回の講師は、ホクレン本所農業機械課馬渉彰司考査役に農作業事故の起きる原因と予防について講演を頂きました。

馬渉考査役は「作業に適した服装・手袋が大事であり、適していないからこそ農業機

故が無く無事に収穫作業を終われるような一年にしようと参加者全員が思いました。



事故の事例を基に説明する
馬渉考査役



揚げたこ焼きを作る麻畠郁子前副部長、今橋副部長、岡田部長、佐野優子前副部長（左から）



厳寒の中、熱戦が繰り広げられる ～JAといろ年金友の会 第44回ゲートボール大会～

JAといろ年金友の会（佐藤国昭会長）は2月10日、常呂町屋内ゲートボール場で第44回を迎えた「ゲートボール大会」を会員21人の参加のもと開きました。

当曰は、寒さの厳しい日となりましたが、いつもの練習の成果を発揮しようと

4チームの総当たり戦で8試合が行われ、審判員の大きな掛け声と選手の寒さを感じさせないハツラツとしたプレーが見られました。4時間にも及ぶ戦いの結果、大野正男チームが接戦を勝ち抜いて優勝となりま

◎大野 正男チーム
大野 正男
道端 智子
清尾 功
中島 正道
小野寺駒吉

酪農にかける想いなどを意見交換

—酪農振興会 視察研修—

常呂町酪農振興会（河野光伸会長）は2月9日、佐呂間町の川又牧場と山内牧場の2牧場へ視察研修を行い、会員5人が参加しました。

最初に訪問した川又牧場は、家族3人で経営を行っており、成牛・育成牛合わせて150頭程を飼養している牧場でした。同牧場では、育成牛を哺育育成センターへ全頭預け、餌はTMRセンターを利用していま

たが、哺育育成センターな数を飼養していました。どちらも育成牛は全て哺育餌は自給飼料100%で経營を行っておりました。こちらも育成牛は元々少ない頭

などの施設利用や、近隣酪農家の離農がきっかけで増改築・増頭を行い今の規模まで拡大しました。

次に訪問した山内牧場では、家族5人と従業員3人で経営を行っており、成牛・育成牛合わせて250頭程飼養している牧場でした。こちらも育成牛は全て哺育餌は自給飼料100%で経營を行っておりました。

重な意見交換が出来とても有意義な視察となりました。



川又牧場を視察する会員のみなさん



大会終了後、参加者で記念撮影

「私の冬の楽しみ」 ちよと発信

J Aマンコーナー

発信No.39

J A職員からのオススメをジャンルにこだわらずに紹介するコーナーです。



草津国際スキー場でボードを片手に笑顔の上野職員

私は、毎年冬になるとスノーボードをします。一緒に行く友達は年々減り、行く機会も減っていますが、今年は群馬県にいる友達と「一緒に滑りたいね」という話から群馬に旅行を兼ねてスノーボードをしに行きました。草津国際スキー場の2171mの山頂から見る景色は、それだけでもよかったです。今年は群馬県にいる友達と一緒にながら、上手な友人に教えてもらい、帰る頃には怖かった急斜面も楽しく滑れるようになりました。こんなに楽しいスノーボードは初めてでした。

スノーボードを終えて、草津温泉で疲れた体を癒し、次の日は一日草津観光をして、草津もスノーボードも満喫できました。

スノーボードは、完配できるので荷物の心配もありません。みなさんも旅行を兼ねウィンタースポーツに行ってみるといいかがでしょうか。

行事予定表

3月1日(水)～3月31日(金)

3月 2日(木)

育苗センター操業～22日（予定）

3月 4日(土)

閉組日

3月11日(土)

閉組日

3月16日(木)

常呂町4Hクラブ通常総会

3月18日(土)

閉組日

3月20日(月)

春分の日

3月22日(水)

第2回定期例理事会

3月25日(土)

閉組日

3月26日(日)

農休日

3月31日(金)

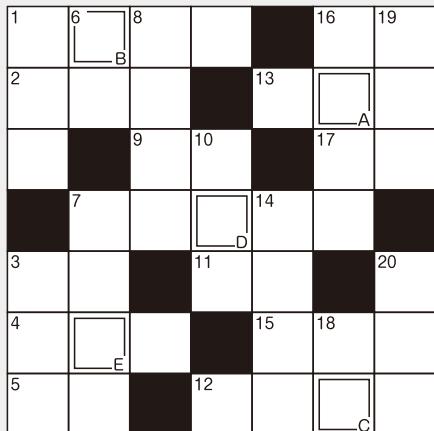
うえるカフェ

第12回理事会報告

- 組合員の出資金譲渡について
原案の通り譲渡することで承認されました。
- 組合員出資の減口について
原案の通り減口することで承認されました。
- 災害見舞金の支出について
災害見舞金を支出することで承認されました。
- マイカーローンキャンペーン実施に伴う貸付金利率の設定について
次の通り貸付金利率を設定することで承認されました。
○利率(年)
優遇 1.60%
最優遇 1.50%
○期間 平成29年2月1日～9月29日まで
- 資金貸付に伴う農協と理事の契約(貸越極度額の設定)について
原案の通り設定することで承認されました。
- 酪農生産基盤強化事業管理利用規程の制定について
原案の通り設定することで承認されました。
- 酪農生産基盤強化事業実施に伴う組合員への貸付について
原案の通り貸付することで承認されました。
- 平成29年度事業計画(案)について
原案の通り設定することで承認されました。
- 平成29年度事業損益の設定について
原案の通り設定することで承認されました。

〈報告事項〉

- 組合員の加入・脱退について
- 固定資産の取得(寄贈)について
- 平成29・30年度の営農集団長について
- 農業経営緊急支援資金(H28特例)の貸付額について
- 農業委員会開催結果について



Crossword Puzzle

～クロスワード・パズル～

二重マスの文字をA～Eの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょうか？

タテのカギ

- 役者が観客に見せるもの
- 卒業式で在校生が卒業生のために読みます
- ドラマの〇〇地を見学しに行った
- ボラの卵巣から作る珍味
- ヒエやアワ、キビなどのこと
- 自分の目では見ることができない範囲
- 鍋料理の締めに作ることも
- 阿弥陀如来が居るとされる所
- 中敷きを入れると履きやすくなることも
- 京都市内の道は〇〇〇の目のようだといわれます
- 知多半島、渥美半島がある県

ヨコのカギ

- 桃の節句に付きものの飲み物
- 水をくんで運ぶのに適した容器
- 流れ星が横切る所
- 雲の切れ間から〇〇〇が差す
- 栄養があっておいしい物のこと
- 両親と未婚の子どもで構成されます
- 背中とお尻の間
- 陸・海・〇〇
- ONとOFFを切り替える装置
- 臼歯の別名です
- 周囲が〇〇〇の手を差し伸べた
- 12時から23時の終わりまで
- エビネやサギソウもこの仲間

先月の当選者・解答

2月号のまちがい探しの答えは、「1、3、4、10、12」でした。

抽選の結果、次の方が当選しました。
おめでとうございます。

田渕 春美さん(豊川)

林 将吾さん(岐阜)

鈴木 智子さん(岐阜)

※()内は地区名です。

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。

抽選で、粗品をプレゼントします。

読者の声

★身近な話題を取り上げてほしい。

(豊川地区・田渕 春美さん)

★毎月の広報楽しみに読ませて頂いています。
特に表紙が一番楽しみにしています。

(岐阜地区・鈴木 智子さん)



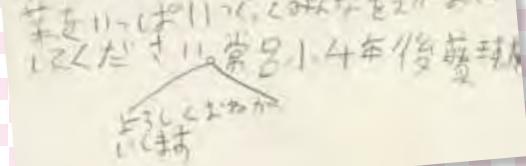
学校給食「常呂ロティー」

北見市立常呂小学校は、「全国学校給食週間」に合わせて常呂産の食材を使用した給食が1月26日、全児童に提供されました。当日のメニューは、11月に当JAより北見市常呂自治区に贈呈された食材を使い調理されました。常呂産玉ねぎがいっぱいの「カレーうどん」と「白玉入りぜんざい」を同校を訪問した当JA小野寺組合長と北見市辻孝宗常呂自治区長が4年生と一緒に試食しました。

4年生を代表して後藤瑛太君は、「常呂町で取れた野菜のプレゼント、毎年”たい焼き作り”などの食育学習をしてくれてありがとうございます。こ

れからも美味しい野菜でみんなを笑顔にしてください」とお礼が述べられました。児童は「いつもより100倍おいしく」と笑顔いっぱい。また「うどん」「せんざい」も次々とお代わりをし、残り少ない「せんざい」をジャンケンで決めていました。さらに「たい焼きもおいしかった。また作りにきてね！」と小野寺組合長にお願いする児童もいました。

当JAは「食材の提供」、青年部が行っている自治区内の3・4年生を対象とした食育事業など、地域の農業と食べ物の大さを知つもらうため、食育教育として取り組みをしています。



●後藤君からのお礼のメッセージ

祝 白寿 ~労に感謝込め記念品贈呈~

共立地区の大友ミサ子さんが1月21日で99歳を迎えたことを記念して、当JAは長寿のお祝いと開拓時代の労に感謝を込め、花束と記念品を贈りました。

現在ミサ子さんは、JA厚生連「特別養護老人ホームところ」で過ごしており、同ホームを訪れた当JA小野寺組合長を笑顔で出迎えてくれました。

組合長から手渡された花束をしっかりと抱きしめ、時折笑顔を見てくれる姿が印象的で、ご家族の康歲さんは「身体がもともと弱かった母親が、こんなに長生きしてくれて嬉しい」と話しました。

白寿を迎えたミサ子さん、ご家族の皆様本当におめでとうございます。これからもどうかお元気で、まだまだ長生きされることをご祈念いたします。

編集後記

- 春がすぐ近くまで来ているのか、最近では日中は雪が溶け、夜になると冷え込みツルツルな路面になる日が続いております。播種作業なども始まり、組合員の皆様もお忙しい時期に突入するとは思いますが、農作業事故には十分気を付けて、豊穣の秋を迎えられますようご祈念致します。
- 毎月クロスワードパズル・間違い探しの応募ありがとうございます。応募の際に皆様からいただいている読者の声を見て「よし、来月も広報頑張ろう!」という元気をもらっています。今後も色々な意見などを聞いて応募していただけるとありがたいです。《営農企画課:広報担当》

笑顔いっぱい

おばあちゃんと
楽しいひな祭り

今月の表紙は、岐阜地区の関谷楓花ちゃん(9)、治美ちゃん(2)と、おばあちゃんの弘子さんです。

3月3日のひな祭りを前に、姉妹仲良くおひなさまの折り紙をしているところを撮影させて頂きました。

2人の笑顔が微笑ましく、姉妹の仲良しが際立っていました。

そんな2人に弘子さんは「健康で元気に育ってほしい」とこやかに語っていました。